

EU Indicators

欧州経済指標コメント：9月ユーロ圏消費者物価（速報）

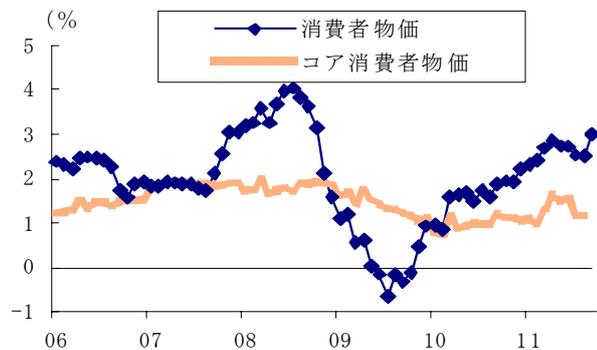
発表日：2011年10月3日（月）

～物価が大きく上振れ、10月会合での利下げの可能性は遠退いた～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

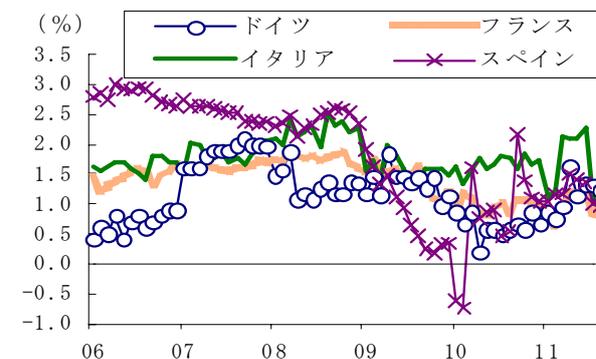
- 9月30日に発表された9月のユーロ圏の消費者物価の速報値（EU統一基準、以下同じ）は前年比+3.0%と前月（同+2.5%）から大幅に加速。事前予想を大きく上回り、2008年10月以来の3%台乗せ。費目別・国別の内訳は10月14日の確報値の結果を待つ必要があるが、イタリアでのVAT税率の引き上げ（9月17日から1%の増税）、ユーロ圏進行に伴うエネルギー関連の輸入物価の上昇などが影響した模様。公表済みの国別の統計ではドイツやイタリアなどで衣料品価格が上振れしており、これは今年に入って季節物商品の統計取り扱い手法を変更したことが影響したとの見方もある。今回の物価上振れは一時的な要因が影響した側面もあり、来月以降は上昇率が縮小に向かうと予想する。
- 物価統計が上振れしたことや景気指標が意外に持ち堪えている（ドイツの失業率の低下、家計マインドの横這い推移、Ifo景況感の大幅な落ち込み回避など）ことから、10月6日のECB理事会では政策金利の引き下げは見送られる公算が大きい。財政危機を巡る市場の動揺が続いているが、EUや各国による政策期待に支えられ、どうにか持ち堪えている状況。このタイミングでECBが利下げに転じたとしても、数々の不透明要因が払拭される訳ではなく、市場心理の浮揚効果も限定的かつ短命に終わる可能性。無制限・固定金利方式での資金供給オペの対象期間の長期化やカバードボンドの買い入れ再開など、非伝統的な金融政策手段の拡充を通じた流動性支援に重点が置かれよう。

■ユーロ圏：消費者物価（前年比）



出所：Eurostat

■ユーロ圏：主要国のコア消費者物価（前年比）



出所：Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価（%）

	2010		2011		2011							
	3Q	4Q	1Q	2Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費者物価（前期比）	0.3	0.5	1.0	0.9	0.1	0.6	0.4	0.0	0.1	-0.1	0.1	-
（前年比）	1.7	2.0	2.5	2.8	2.4	2.7	2.8	2.7	2.7	2.5	2.5	3.0
コア消費者物価（前年比）	1.0	1.1	1.1	1.6	1.0	1.3	1.6	1.5	1.6	1.2	1.2	-
食料品（前年比）	1.0	1.5	1.8	2.5	2.0	2.0	2.0	2.7	2.7	2.6	2.6	-
アルコール（前年比）	1.0	0.8	0.7	0.9	0.6	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	0.9	-
タバコ（前年比）	4.7	5.1	5.4	4.4	5.3	5.4	4.9	4.8	3.5	4.0	4.4	-
エネルギー（前年比）	7.3	9.2	12.7	11.5	13.1	13.0	12.5	11.1	10.9	11.8	11.8	-

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。

出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。